

令和6年度「まちづくり懇談会」開催報告書【大東地域】

1 会の概要

日時	8月20日(火) 18:30~20:00	場所	大東支所1階 第1会議室
対象地区	大東地域	対象者	大東地域内の地域協働体、保育園・こども園父母の会、小学校PTA、中学校PTAから推薦された方
テーマ	10年後の地域のすがた		
参加者	地域協働体、保育園、こども園、小・中学校から推薦された方 22人		
市出席者	大東支所長、大東支所次長兼地域振興課長、各課長、地域振興課員 8人		
特記事項	いちのせき市民活動センターから2人参加（ファシリテーターとして）		

2 懇談会で出された意見等

No.	区分	項目	内容	備考
1	提案	人口減少対策	人が集まれる場所が無いので、娯楽施設を作り、子どもから大人まで集まれる場所ができれば、町の魅力が上がり10年間の人の流出を少しでも抑えることができるのではないかと。	
2	意見	人口減少対策	人が減ることにより地域の高校の存続も危ぶまれるようになり、産業も存続できなくなっていくのではないかと。	
3	意見	人口減少対策	人が残るために、働く場所、収入を得ることができる場所が必要。	
4	提案	人口減少対策	大東地域の特性を活かし、農業法人のようなものを作れば、働く場所が増え、この先の雇用にもつながるのではないかと。	
5	その他	高齢化対策	農業の担い手が減っており、農地が荒れてきているのが心配である。	
6	その他	高齢化対策	高齢者一人世帯が増え、地域との関わりが減ってきていること、また詐欺に遭う人が増えるのではないかと心配している。	
7	その他	高齢化対策	昔の人たちの知恵や地域の伝統・風習などが引き継がれなくなってきているのではないかと心配している。	
8	提案	高齢化対策	高齢者と子どもたちが話をしたり一緒に活動したりすることができる場所を開設すれば、一人暮らし高齢者と地域とのつながりができ安心して暮らせるのではないかと。併せて昔の人たちの知恵や伝統・風習の継承にもつながるのではないかと。	
9	提案	高齢化対策	働く場所が少ないため、子をもつ親世代は町外で働いている場合が多い。そのような親世	

			代が仕事をしやすくなるように、地域の人たち（高齢者を含む）が子どもたちを見守るようなシステムを作ってはどうか。	
10	提案	高齢化対策	交通の便が悪いが、普段の生活を維持するために高齢者が運転免許を返納できず、交通事故のリスクが高まることも心配されることから、運転免許を返納しても移動に支障が無い、又は生活していけるようなシステムを検討してはどうか。	
11	意見	高齢化対策	自治会が人口減少と高齢化により存続できなくなってきたことから、今後、自治会の合併も考えなければならない。 地域内での支え合い活動や高齢者見守りなどを維持するためには必要なことと思う。	
12	提案	高齢化対策	空き家を活用してはどうか。外国人就労者や田舎暮らし希望者の移住促進にもなる。	
13	意見	コミュニティ活動の維持	現在は元気な高齢者が多く、地域活動やお祭りを行うことができているが、その方々が元気でなくなるのが10年後なのではないか。	
14	提案	コミュニティ活動の維持	各地域の人たちが一堂に会することができる、交流することができる場をどんどん増やして継続していくことが大事なのではないか。	
15	提案	コミュニティ活動の維持	それぞれの地域が歩み寄りながら、一緒になって課題解決に取り組んでいければよいのではないか。	
16	提案	コミュニティ活動の維持	高齢者の方から次（子育て世代）の世代の皆さんへバトンを渡す・受け継ぐために、地域のことを学んだり、愛着を持つことができるような機会を設けることが必要ではないか。	